

学 校 説 明 会 のご案内

1 期 日

第1回 令和8年 9月12日(土) 13:40~16:30

第2回 令和8年 10月17日(土) 12:40~16:00

2 場 所

北海道石狩翔陽高等学校 第2体育館 他

3 時 程 (各日の実施時間・内容が異なっておりますのでご注意ください)

9/12 (土)		10/17 (土)	
13:00	受付 (生徒玄関からお入りください)	12:00	受付 (生徒玄関からお入りください)
13:40 ~14:30	学校説明 (第2体育館)	12:40 ~13:30	フリー授業参観
14:40 ~15:20	体験授業	13:40 ~14:30	学校説明 (第2体育館)
15:30	部活動見学 (任意)	14:40 ~15:00	課題研究等発表披露
16:30	全日程終了	15:00	部活動見学 (任意)
		16:00	全日程終了
※体験授業について、別紙「体験授業一覧」を参考に第3希望まで申し込みフォームに入力ください。各講座受け入れ可能人数に上限があるため、ご希望に添えない場合があることをご了承ください。		※フリー授業参観について、時間も参観場所も完全にフリーで行います。受付場所に授業実施場所等の案内がありますので自由に見学してください。 ※課題研究等発表披露は、総合学科特有の生徒による探究学習の発表を予定しております。	

※時程は当日の進行状況により前後することがございます。

※全日程終了(閉会式)後、個別相談の機会を設けております。希望される場合は、事前の申し込みフォームにて、または当日直接お申し出ください。

※部活動見学については、大会出場等で当日活動を行っていない部活動もございますので、ご了承ください。

4 申込方法

下記QRコードまたはリンク(本校ホームページにも掲載)からGoogle Formsに入り、必要事項を入力し送信してください。

※申し込みフォーム <https://forms.gle/FNt6oe15fMi8ju2L8>

※本校HP <http://www.ishikarishoyo.hokkaido-c.ed.jp/>



5 その他

(1) 申し込み締め切り

・第1回（9月12日開催分） 8月31日（月）まで

・第2回（10月17日開催分） 10月5日（月）まで

※どの回も申し込みは今から可能です。

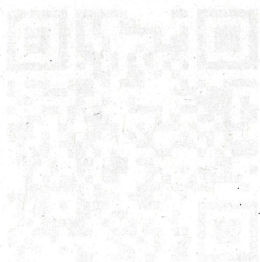
※特に第1回に関して、体験授業の割り振りの関係上、期日が過ぎてからの申し込みは受けかねますのでご注意ください。

※申込み後にキャンセル等が必要になった場合は、本校（Tel：0133-74-5771 担当：高橋）までご連絡ください。

(2) 参加される方は、上履き及び靴袋をご持参ください。

(3) 本校の駐車場には限りがございますので、可能な限り公共交通機関でお越しください。

(4) 中学生の方の服装、来校手段等については本校の指定はございませんので、各中学校・各ご家庭の判断で 来校願います（自転車にてご来校される場合は、担当者の指示に従い指定の場所に駐輪してください）。



<別紙> 令和8年度 石狩翔陽高等学校 学校説明会 体験授業一覧

講座 No	教科	講座名	実施内容	人数 上限
1	国語科	文学国語	詩歌の創作	30 名
2	地歴公民科	学校周辺のミニ巡検	近くにある山を見ます(もしくは登ります)！	20 名
3	数学科	計算のスピードを上げよう	展開公式を用いて数同士の計算速度を上げ ましょう！	40 名
4	理科	ドローンで物理学	ドローンを使った実験を通して、物理の法則を 楽しく学ぼう！	10 名
5	保健体育科	スポーツ概論	スポーツの競技力を向上させよう！	40 名
6	芸術科/美術	台所彫刻	アルミホイルで果物や野菜をつくろう！	30 名
7	芸術科/美術	クロッキー	短時間で全身像（お互いがモデル）を描き ます。鉛筆を持参してください。	10 名
8	芸術科/工芸	工芸	粘土を使った器の成形	14 名
9	芸術科/書道	筆文字体験	毛筆の体験をしましょう！	15 名
10	芸術科/音楽	音楽リズム	リトミック（体を動かしながら歌う）とピアノに 挑戦しよう！	15 名
11	外国語科	英語に親しもう	英語を使ってゲームをしよう！	20 名
12	家庭科	保育実践	保育検定を体験してみよう！	20 名
13	家庭科	フードデザイン	豆腐白玉みたらしを作ろう！	24 名
14	看護・福祉科	高齢者体験をしてみよう！	高齢者体験を通して、福祉や看護について 知ろう！	16 名
15	看護・福祉科	ベッドメイキングに挑戦！	ベッドメイキングは介護のスタートです。翔陽で 介護技術を身につけよう！	24 名
16	商業科	商業（簿記・マーケティング）	物が売れる仕組みを考えたり、日々の取引を 帳簿に記録する方法を学んだりします。	40 名
17	情報科	Excel 講座	Excel の検定問題に取り組んでみよう！（グ ラフ作成）	20 名
18	情報科	ビジネス文書実務検定試験 速度部門に挑戦！	ワードの使い方や、速度部門3級レベルの10 分入力を体験します。	15 名

令和8年度 第2号

公式YouTube 公式Instagram

北海道石狩翔陽高等学校

総合学科情報誌

〒061-3248
石狩市花川東128-31
TEL 0133-74-5771
FAX 0133-74-8741

本校ホームページ

石狩翔陽高校は道内最大規模の総合学科で、140以上の選択科目から自分だけの時間割を作ることができる学校です。その中でも中心となるのが、各学年で実施される「探究」の授業です。



1年次 産業社会と人間（通称：産社）

「自分」を知り、「未来」を描き出す第一歩

1年次全員が学ぶ「産社」は、自分の生き方「ライフプラン」を考え、自分だけの時間割を作るための土台となる科目です。

・4月：オリエンテーションとICT活用

高校生活のスタートにあたり、タブレットを活用した「ICT活用術」を学び、探究のツールを使いこなす準備をしました。

・5月：自己分析と適性検査

リクルート社の協力により適性検査を実施し、客観的なデータから自分の興味や強みを深く理解する活動を行いました。

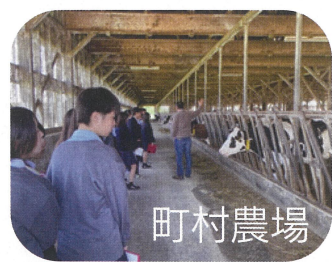
・6月～7月：企業・上級学校見学会 ：科目選択ガイダンス

アンケートに基づいて8コースに分かれ、企業・上級学校へ見学に行きました。また残り2年間の選択科目の決定を担任の面談や選択科目担当教員との面談を通し、140を超える膨大な選択科目から、自分の進路に最適な学びを選ぶためのガイダンスが行われています。座席数や教材数による限りや授業内容での人数制限があるため、抽選やレポートなどによる選抜が行われることもあります。

今後は「ライフプラン」発表会へ向けた探究活動が行われていきます。



北海道大学



町村農場

企業・上級学校見学会～在校生の声～

・町村農場では牛一頭一頭をていねいに扱い、ストレスをできるだけ軽減させられる取り組みを行っていました。将来調理の専門学校に進もうとしている身として、スーパーに並んでいるお肉など、あんなにていねいに育てられていると考えたら生産者への尊敬や感謝の気持ちでいっぱい、雑に扱うことはできないと思いました。

・札幌学院大学を訪問し、大学では自分で時間割を作り様々な学問を学ぶことを知りました。その意味では翔陽でも自分だけの時間割を作るので、高校から経験できて良かったと思いました。また体験講座では、一つの視点だけではなく、異なる立場から物事を考えることの大切さを学びました。

・私はJICAを訪問しました。見学に行く前は、日本からの支援の多くはリモートにたよっていると思っていましたが、実際には直接支援する国に行っていることがわかり、様々な言語を駆使して交流していることがわかりました。世界のリアルな現状をわかることがすごいと改めて思いました。日本が援助をやめた後、現地の人々だけで活動を維持し続けられるかが課題だと感じました。

・北星学園大学では、実際に講義を受けさせていただいて、知識を覚えるだけではなく自分で考える力が必要だと学びました。これからの高校生活では、物事をきちんと考えて行動しないといけないと感じました。



2年次 総合的な探究の時間（通称：総探）

探究のスキルを磨き上げる

2年次は、これまでの「ライフプラン」で得た探究のスキルを一步進め、「ICT活用術」の定着も視野に、個人の関心に基づいた探究に重点を置いています。

・4月～6月：探究学習応用（個人活動）

前期のメインテーマは「探究学習応用」として「個人活動」による探究の仕方を学び直します。自分が興味を持つテーマについて、情報の集め方や分析方法といった探究のプロセスを個別に深化させ、「課題設定」から「AIの使用方法」まで幅広く身につけるための活動が行われました。

・6月～7月：学習過程の振り返り

結果だけを求めるのではなく、どのように課題を見つけ、どう考えたかという「学習過程」に重点を置いて活動の成果をまとめ、発表を行います。

このまとめで一度区切りをつけ、今後は見学旅行準備への取り組みが中心となっていきます。見学旅行後は、3年次の課題研究のテーマ決定へ取り組み、グループでの協働のあり方を学んでいきます。



3年次 課題研究（通称：課研）

～3年間の集大成！専門家と創る自分の研究～

これまでの学びを土台に、自ら設定したテーマを1年かけて究める「総合学科の学びの集大成」です。

・4月：テーマ発表会

19の専門ゼミに分かれ、自分が考えた研究テーマをゼミ生の発表から刺激を受けて、自分の研究計画をよりよいものにまとめました。

・5月～6月：調査・実験

それぞれの計画に基づき、調査・研究をスタートさせました。それぞれグループフォームのアンケートを作成し、実施しました。また、上級学校の先生をお招きし、専門知識を得たり、直接研究へのアドバイスをを受けたりしました。

・7月：中間発表に向けたまとめ、夏期休業の取り組み準備

12月の最終発表会を見据え、アンケートや実験などを通じて研究の精度を高めています。★翔くんプロジェクトにご協力いただける企業と連携し、研究を深める予定です。

～★翔くんプロジェクトとは…？～

「石狩翔陽高校の探究的な学習や各教科・部活動など教育活動全体で活用できる地域協働システムを構築し、本校の探究的な学習の更なる充実と総合学科の特性を活かした進路希望の実現を目指す」ことを目的として発足したプロジェクトです！



地域協働ハブ：石狩翔陽高校

道内最大規模の生徒

- 多様な興味・関心と個性
- ドローン・VR等のICT活用
- 柔軟な発想を持つデジタル世代

石狩の圧倒的企業力

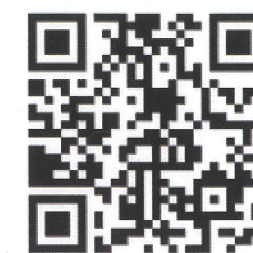
- 石狩湾新港地域の770社超
- IT、物流、食品、環境、福祉
- 国内屈指のリアルな探究フィールド

協力企業を募集し、生徒が地域と繋がりたい時に円滑につながれる仕組みを構築することで、翔陽の探究学習が加速度的に進みます！

学校説明会

9月12日（土）

10月17日（土）



★ 北海道石狩翔陽高校の「探究」は、自ら考え行動し、社会変革を実現する力（エージェンシー）を育みます。中学生の皆さんも、私たちと一緒に「自分だけの答え」を見つける旅に出ませんか？